

外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質能力の育成
—モデルプログラム開発に向けて—

日時: 2018年2月18日(日) 13:30 - 16:30 (受付開始 13:00)

会場: 学習院大学 南3号館 201号教室(最寄: JR 目白駅)

定員: 200名(要申込、参加費無料)

日本語教育学会は昨年、文部科学省より「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」(2017年度～2019年度<予定>)を受託しました。この事業は、外国に背景を持つ子どもたちの増加に伴い、その教育に携わる教員や支援員に必要な資質・能力は何か、資質・能力育成のためにはどういった養成・研修が必要なのかを検討し、モデルプログラムを開発することを目的としています。3年計画の1年目である2017年度は、全国の大学や教育委員会などを対象とした、養成・研修の実施状況に関する質問紙調査、担当教員等にとって必要な資質能力及び育成方法に関するインタビュー調査、モデルプログラム案の作成・試行等を行っています。

このたび、初年度に実施した調査研究の報告を行い、その結果の共有をはかるとともに、本事業について広くご理解をいただくことを目的として、シンポジウムを開催することとなりました。多くの方にご参集いただければ幸いです。

<問い合わせ>

本事業事務局(工藤・村瀬)

mo.mo.pro.jimukyoku@gmail.com

日本語教育学会(白石)

住所: 東京都千代田区西神田 2-4-1

東方学会新館 2F

電話: 03-3262-4291

<申し込み> ↓こちらから

<http://www.kokuchpro.com/event/58ee60e7c6f0e921e88f4bf617ad2003/>

こちらからも申し込み可 →

<プログラム(予定)>

- 1 開会挨拶 石井恵理子(日本語教育学会会長)
- 2 挨拶 小幡泰弘(文部科学省初等中等教育局国際教育課課長)
- 3 プロジェクトの概要 齋藤ひろみ(代表、東京学芸大学)
- 4 調査報告 <中間報告>
 - 1) 調査1: 外国人児童生徒等教育担当教員の養成・研修について
金田智子(学習院大学)・伊東祐郎(東京外国語大学)
市瀬智紀(宮城教育大学)・河野俊之(横浜国立大学)
 - 2) 調査2・3: 資質・能力及び担当者の養成・研修について
中川祐治(福島大学)・仲本康一郎(山梨大学)
- 5 モデルプログラムの開発について
浜田麻里(京都教育大学)・菅原雅枝(東京学芸大学)
川口直巳(愛知教育大学)・中山あおい(大阪教育大学)
和泉元千春(奈良教育大学)
- 6 質疑応答
- 7 閉会挨拶 伊東祐郎(東京外国語大学)

